

## 平成15年度農産物中の残留農薬検査結果

## 1. はじめに

輸入食品の多様化、新しく開発された農薬の増加等を背景に、食品中の残留農薬に関する一層の安全性の確保が求められている。厚生労働省では、従来から食品衛生法に基づき、農産物中に残留する農薬の量の限度として残留農薬基準を策定し、食品の安全性の確保に努めてきたところである。平成 17 年 11 月 28 日までに、250 農薬について約 130 の農作物ごとに約 10,000 の基準値を策定した。平成 17 年 11 月 29 日には一定の量を超えて農薬、飼料添加物及び動物用医薬品が残留する食品の販売等を原則禁止する、いわゆるポジティブリスト制度について告示し、平成 18 年 5 月 29 日に施行したところである。

このような残留基準の策定とともに、現に流通している食品中の残留農薬等について、地方公共団体や検疫所における行政検査や輸入者等による自主的な検査等が行われている。検査の結果、残留基準に適合しない場合には回収、廃棄等の措置が講じられているほか、必要に応じて、農薬等の適切な使用等について指導が行われている。

これらの検査結果の取りまとめは、平成 6 年度に実施されたものから行っているところである。今般、平成 15 年度の農産物中の残留農薬検査結果として、地方公共団体及び検疫所が実施した検査及び残留農薬実態調査の結果を取りまとめたので報告する。

## 2. 集計方法

平成 15 年度に実施した農産物中の残留農薬検査結果として、①地方公共団体が実施した検査の結果、②検疫所が実施した検査の結果を集計した。

### ① 地方公共団体における検査結果

地方公共団体における検査結果について、平成 17 年 1 月 14 日付け食安基発第 0114002 号厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課長通知により、各機関に対し平成 15 年度の検査結果の提供を依頼したところ、次の 100 機関より検査結果の提供を受けた。

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、新潟県、富山県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市、旭川市、秋田市、郡山市、いわき市、川崎市、横須賀市、富山市、金沢市、長野市、岐阜市、静岡市、浜松市、豊田市、岡崎市、堺市、高槻市、姫路市、奈良市、和歌山市、岡山市、福山市、高松市、松山市、高知市、長崎市、熊本市、大分市、宮崎市、鹿児島市、小樽市、函館市、東大阪市、尼崎市、西宮市、呉市、葛飾区、足立区、練馬区、板橋区、豊島区、杉並区、世田谷区、目黒区、品川区、文京区、新宿区、千代田区

### ② 検疫所における検査結果

検疫所における検査結果については、平成 15 年度に横浜検疫所及び神戸検疫所の輸入食品・検疫検査センターが実施した検査の結果を用いた。なお、検疫所において実施

した輸入米の残留農薬検査結果については、別途公表されており、本集計からは除外した。

上記①及び②の検査結果を併合し、検査対象農産物又は農薬ごとに、農産物を国産品、輸入品に区分した上で、件数（検査件数）、検出数（各農薬が検出された件数）及び検出範囲（各農薬が検出された量の上限と下限）並びに残留農薬基準値が設定されている場合には違反数（残留農薬基準値を超える量の農薬が検出された件数）をそれぞれ集計した。違反の判断については、検査を実施した平成 15 年度時点の残留基準値に基づき行ったものである。

なお、これらの検査にあたっては、必ずしも厚生労働省が通知等で示している試験方法ではなく、これらの試験法と同等以上の性能を有すると認められる試験法が用いられていることがあること、また残留農薬基準が設定されていないものについては、統一した試験法が示されていないこと等により、各試験における検出限界等は、各検査機関間で一定していない。また、ppb オーダーの極微量の値が検出された例も、検出事例として検出数に含まれている。

### 3. 集計結果

平成 15 年度の検査結果の総括表を表 2 に、また、参考として平成 14 年度の結果を表 3 に示した。集計の対象となった平成 15 年度の農産物中の残留農薬検査結果総数は約 2,130,000 件であり、このうち食品衛生法に基づく残留農薬基準値が設定されているものが約 830,000 件、設定されていないものが約 130,000 件である。検査を行った農産物について国産品、輸入品の別にみると、国産品が約 350,000 件、輸入品が約 1,780,000 件となっている。

また、検査の結果、何らかの農薬が検出されたものは 4,894 件（0.23%）であり、このうち、残留農薬基準が設定されているものが 3,671 件（0.44%）、設定されていないものが 1,223 件（0.09%）である。農薬が検出された事例について、国産品、輸入品の別に見ると、国産品が 1,188 件（0.34%）、輸入品が 3,706 件（0.21%）となっている。

更に、残留農薬基準が設定されているものであって、基準値を超える量の農薬が検出されたものは 66 件（0.01%）である。これらを国産品、輸入品の別に見ると、国産品が 15 件（0.01%）、輸入品が 51 件（0.01%）となっている。なお、残留農薬基準に適合しない農産物については、地方公共団体や検疫所において当該農産物の回収、廃棄等の措置が講じられたほか、必要に応じて農林部局と連携し、生産者に対して農薬の適切な使用についての指導が行われた。

農薬ごとの検査結果については、同一農薬に関する検査数が 100 件以上あった 134 農薬中検出割合の高い上位 20 農薬を表 4 に示した。また、国産品を対象として同一農薬に関する検査数が 100 件以上あった 93 農薬中、検出割合の高い上位 20 農薬を表 5 に、輸入品を対象に同一農薬に関する検査数が 100 件以上あった 100 農薬中、検出割合の高い上位 20 農薬を表 6 に示した。

### 4. 考 察

平成 15 年度の結果は平成 14 年度とほぼ同様の傾向を示しており、何らかの農薬が検出

された件数割合、食品衛生法に基づく残留基準値を超える農薬が検出された件数の割合のいずれも極めて低いことから、我が国で流通している農産物における農薬の残留レベルは低いものと考えられる。なお、農産物から検出された農薬の中には、臭素や鉛のように、農産物中にバックグラウンドとして検出されるものもあり、検出されたものすべてが農薬として用いられた成分に由来するものとは限らない。

さらに、農産物の国産品、輸入品の別にみると、表5及び表6に示したとおり、検出割合の高い農薬の種類が異なっているが、これは国内と諸外国とで汎用されている農薬の種類が異なることによるものと考えられる。

## 5. ま と め

本集計結果から、農薬が検出された件数の割合、食品衛生法に基づく残留基準を超える件数の割合はいずれも極めて低く、我が国で流通している農作物における農薬の残留レベルは低いことが明らかとなった。

本集計結果は昨年度に引き続き地方公共団体、検疫所等で実施された農産物中の残留農薬検査結果のうちで入手できたものを集計したものであるが、我が国において流通している農産物における農薬の残留状況を把握するうえで参考になるものと考えられる。

表1 農産物分類

大麦	バナナ
小麦	パパイヤ
米(玄米をいう。)	マンゴー
そば	いちご
とうもろこし	クランベリー
ライ麦	ハuckleベリー
上記以外の穀類	ブラックベリー
えんどう	ブルーベリー
小豆類(いんげん, ささげ, サルタニ豆, サルタ ピア豆, バター豆, ペギア豆, ホホワイト豆, ラ イマ豆, レンズを含む。)	ラズベリー
そら豆	上記以外のベリー類果実
大豆	かき
らっかせい	すいか
上記以外の豆類	ぶどう
あんず(アプリコットを含む。)	まくわうり
うめ	メロン類果実
おうとう(チェリーを含む。)	上記以外の果実
すもも(プルーンを含む。)	かぶ類の根
ネクタリン	かぶ類の葉
もも	カリフラワー
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	キャベツ(芽キャベツを含む。)
グレープフルーツ	きょうな
なつみかん	クレソン
なつみかんの外果皮	ケール
なつみかんの果実全体	こまつな
みかん	西洋わさび
ライム	だいこん類(ラディッシュを含む。)
レモン	だいこん類の葉
上記以外のかんきつ類果実	はくさい
西洋なし	ブロッコリー
日本なし	上記以外のおぼろな科野菜
びわ	かんしょ
マルメロ	こんにゃくいも
りんご	さといも類(やつがしらを含む。)
アボカド	ばれいしょ
キウイ	やまいも(長いもをいう。)
グアバ	上記以外のいも類
なつめやし	かぼちゃ(スカッシュを含む。)
パイナップル	きゅうり(ガーキンを含む。)
パッションフルーツ	しろうり
	上記以外のうり科野菜
	アーティチョーク

(表1のつづき)

エンダイブ	えだ豆
ごぼう	オクラ
サルシフィー	さとうきび
しゅんぎく	しょうが
チコリ	てんさい
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	ほうれんそう
上記以外のきく科野菜	さやいんげん
しいたけ	さやえんどう
マッシュルーム	上記以外の野菜
上記以外のきのこ類	ごまの種子
セロリ	なたね
にんじん	ひまわりの種子
パースニップ	べにばなの種子
パセリ	綿実
みつば	上記以外のオイルシード
上記以外のせり科野菜	アーモンド
トマト	ぎんなん
なす	くり
ピーマン	くるみ
上記以外のなす科野菜	ペカン
アスパラガス	上記以外のナッツ類
たまねぎ	カカオ豆
にんにく	コーヒー類
ねぎ(リーキを含む。)	茶
わけぎ	ホップ
上記以外のゆり科野菜	小麦粉

表2 平成15年度総括表

	国産・輸入	検査数	検出数		基準を超える件数	
			件	%	件	%
食品衛生法に基づく残留基準が設定されているもの	国産品	188,920	979	0.52	15	0.01
	輸入品	640,805	2,692	0.42	51	0.01
	合計	829,725	3,671	0.44	66	0.01
食品衛生法に基づく残留基準が設定されていないもの	国産品	160,569	209	0.13		
	輸入品	1,139,044	1,014	0.09		
	合計	1,299,613	1,223	0.09		
総合計	国産品	349,489	1,188	0.34		
	輸入品	1,779,849	3,706	0.21		
	合計	2,129,338	4,894	0.23		

表3 平成14年度総括表

	国産・輸入	検査数	検出数		基準を超える件数	
			件	%	件	%
食品衛生法に基づく残留基準が設定されているもの	国産品	118,537	703	0.59	27	0.02
	輸入品	263,344	1,231	0.47	83	0.03
	合計	381,881	1,934	0.51	110	0.03
食品衛生法に基づく残留基準が設定されていないもの	国産品	79,469	165	0.21		
	輸入品	449,639	1,183	0.26		
	合計	529,108	1,348	0.25		
総合計	国産品	198,006	868	0.44		
	輸入品	712,983	2,414	0.34		
	合計	910,989	3,282	0.36		

表4 検出割合の高い農薬（検査数100件以上）

農薬名	検査数	検出数	%
		件	
チアベンダゾール	100	41	41.00
イマザリル	726	157	21.63
臭素	1,121	173	15.43
2,4-D	253	17	6.72
クロタロニル	2,159	58	2.69
キャプタン	2,930	71	2.42
プロパルギット	214	5	2.34
イプロジオン	3,271	65	1.99
ジクロラン	181	3	1.66
アセフェート	2,994	44	1.47
フルフェノクスロン	982	13	1.32
マラチオン	33,659	442	1.31
メパニピリム	391	5	1.28
プロモプロピレート	238	3	1.26
酸化フェンブタスズ	420	5	1.19
アセタミプリド	1,279	15	1.17
シプロジニル	776	9	1.16
シペルメトリン	31,407	342	1.09
フェンプロパトリン	27,128	281	1.04
ビフェントリン	27,778	282	1.02

表5 国産農産物において検出割合の高い農薬（検査数100件以上）

農薬名	検査数	検出数	
		件	%
プロシミドン	1,697	85	5.01
プロパルギット	102	4	3.92
クロロタロニル	1,507	50	3.32
クレソキシムメチル	1,491	46	3.09
キャプタン	2,135	65	3.04
クロルフェナピル	1,691	47	2.78
メパニピリム	202	5	2.48
シベルメトリン	4,315	91	2.11
イプロジオン	2,301	47	2.04
アセフェート	2,222	43	1.94
フルフェノクスロン	729	12	1.65
フェンプロパトリン	1,532	25	1.63
アセタミプリド	1,002	15	1.50
酸化フェンブタズ	282	4	1.42
シプロジニル	574	8	1.39
エトフェンプロックス	1,414	16	1.13
ベルメトリン	4,405	45	1.02
メタミドホス	1,279	13	1.02
アゾキシストロピン	600	6	1.00
クロルピリホス	6,467	62	0.96

表6 輸入農産物において検出割合の高い農薬（検査数100件以上）

農薬名	検査数	検出数	
		件	%
イマザリル	401	157	39.15
臭素	1,082	162	14.97
2,4-D	168	17	10.12
イプロジオン	970	18	1.86
プロモプロピレート	132	2	1.52
マラチオン	28,578	430	1.50
トリシクラゾール	134	2	1.49
トリアジメノール	719	10	1.39
クロロタロニル	652	8	1.23
ピフェントリン	25,794	271	1.05
フェンプロパトリン	25,596	256	1.00
シペルメトリン	27,092	251	0.93
クロルピリホス	55,994	503	0.90
プロバルギット	112	1	0.89
ジコホール	1,043	9	0.86
クロルフルアズロン	238	2	0.84
テブフェノジド	259	2	0.77
ピリプロキシフェン	792	6	0.76
キャプタン	795	6	0.75
酸化フェンブタスズ	138	1	0.72